

目標をもって目指した紙漉きの達人

職業技能クラフト班 紙漉き作業

小出特別支援学校川西分校 市橋佑太

<授業のねらい>

<紙漉き作業のねらい>

- ・紙漉き作業を通して、就労するために必要な作業手順の理解、能率を意識した作業態度、コミュニケーション力を身に付ける。

<指導プログラムの工夫>

<検定のねらい>

- ・検定を行うことで生徒の課題が明確になる。その課題を改善することを目標にし、作業に取り組むようにすることで、作業への意欲や技術の向上などの変容を目指す。

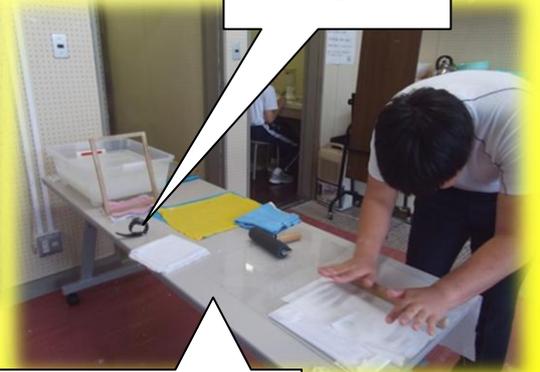
<指導の工夫>

- ・写真や各工程でのポイントが記入されている手順表を作成し、自分で確認しながら作業を行うようにした。
- ・良い例、悪い例を、写真を通して示した。
- ・作業に必要な導線をスムーズにしたり、物品の棚を整理したりなど作業環境の改善を図った。

どこにどの道具を置くかわかりやすくした



時計を置いて時間を意識



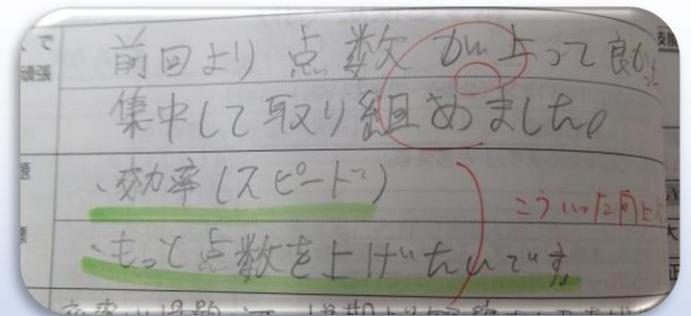
道具の置く位置も適切である。

- ・検定の結果から出た課題を、授業の始めに本時の目標として書くことで毎時間、課題を意識して紙漉きを行うようにした。

<成果と課題>

<成果>

- ・毎時の始めに目標数を設定していたことが、生徒の意欲向上への意識付けになった。振り返りの時にも、目標数と実際の完成数を比較して反省を述べる生徒が多かった。
- ・効率アップのために道具の位置を注意しながら作業に取り組めるようになった。



<課題>

- ①検定の評価項目は妥当であったか。複数の教職員で検討する必要がある。
- ②作業手順の理解、作業中の態度、準備・片付けまでの一連の動作ができるかを主な評価項目にしているが、出来上がった紙の厚さ、品質などの面から製品としての完成度合を測る評価項目がなかった。
- ③検定で良い結果を得ることが目標ではなく、検定を受けて得た課題を授業のみではなく日常生活へ般化させていきたい。